

# 火災ゼロ NEWS

「火災予防は、一人ひとりの心から」

安全で安心な暮らしをサポート！  
火災予防に関する様々な情報をお届けします

あなたの家に潜む、**火災危険！** 少しの**注意**で防ぐことができます

## トラッキング現象



コンセントまわりにほこりや湿気が溜まることで発生するおそれがあります！

電気機器を使用していない時でも発生してしまう恐ろしい現象です！

**火災発展危険 大**

### 対策

- ・コンセントまわりにほこりを溜めない。
- ・使用していないコンセントは抜いておく。
- ・コンセントまわりに燃えやすい物を置かない。
- ・古い電源タップは使わず、トラッキング防止機能の付いた製品を使用する。

## 配線のショート



電気機器のコードを束ねて使っていたり、家具など重いものの下に挟まっていたりすると配線に負荷が掛かりショートするおそれがあります！

**出火予測困難 大**

### 対策

- ・コードを束ねたまま使用しない。
- ・コードは家具の下などを通さない。
- ・コードを無理に引っ張らない、折り曲げない。
- ・安全ブレーカー（短絡保護機能付）を使用する。

## こんろ



料理中、火を消さずに、その場を離れたことで火災に発展するおそれがあります！

人のうっかりミスで発生する建物火災第1位です！火力や鍋の内容物によっては5、6分で火災になることも！

**ヒューマンエラー 大**

### 対策

- ・こんろの使用中はその場を離れない。もし離れるときは必ず火を消す。
- ・こんろ周りに燃えやすいものを置かない。
- ・油污れはそのままにせず掃除をする。
- ・もしものために消火器を備えておく。

## たばこ



電子たばこが増えてきましたが、毎年火災原因の上位となっています。

「無炎燃焼」という炎を上げずに燃焼する特徴があり、布団などに落ちると、1時間以上経過後に発火し、火災になることがあります。

**気付かず火災発生 大**

### 対策

- ・たばこのポイ捨ては絶対にしない。
- ・寝たばこは絶対にしない。
- ・火がついたままのたばこを放置しない。
- ・灰皿には水を入れておく。
- ・吸い殻は水に浸けてからゴミに捨てる。

## 火災の発生状況は減少傾向に、死傷者は後を絶たず…

2017年（平成29年）中、火災は106件発生しました。過去5年間で最も少ない火災件数を記録しましたが、火災による死者の数はほぼ横ばいとなっています。火災により亡くなる方の6割以上は高齢者です。

そのほとんどが逃げ遅れによるもので、万が一に備

えて住宅用火災警報器の設置が必要です。

また、出火原因が「放火・放火の疑い」による火災は依然として全国的にも上位を占めており、地域ぐるみで「放火されない環境づくり」を目指す必要があります。一丸となって「火災ゼロ」へLet's go!

# ♪ つたえる 予防 ひるば

## 火災 予防の原点 類似 防止

火災は、大切な命や財産を一瞬にして奪ってしまう恐ろしいものです。

我々消防は、その「発生してしまった火災」から、皆さんの命や財産を守るという使命のために日々活動していますが、何と言っても最善の方法は「火災を発生させない」ことにあります。

まさに、火災ゼロです。

「火災を発生させない」ためには、「発生してしまった火災」の原因を究明し、発生させない対策や不良製品

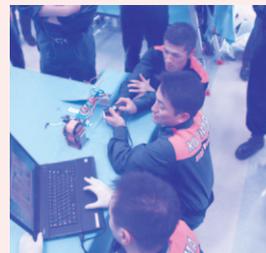
の改良などを行う必要があります、それらの基礎となるのが「火災原因調査」です。

「火災原因調査」は、消防・救急・救助活動などとは違い、住民の皆さんの目に触れる機会はほとんどありません。

しかし、火災の原因を究明し、類似火災を防止するという目的で行う「火災原因調査」は、火災ゼロに向けた火災予防の原点であり、皆さんの安全で安心な暮らしをサポートしています。

このコーナーでは、郡山消防が行っている火災ゼロに向けた様々な活動をお伝えします。

火災が鎮火した後、焼け跡に残る、わずかな情報を基に出火原因に繋がる手掛かりを探します。繊細かつ根気のある作業です。  
(写真右)



製品からの出火が疑われるときは、「鑑識」を行い、その製品の内部まで詳細に調査します。電気などの専門的な知識が必要となります。  
(写真左)

※火災現場で出火原因に関係する製品などを持ち帰り、電子顕微鏡などの資器材を使用して詳細に観察し記録すること

## いざ! 防 災

— 使える防災情報コラム —

### 「てんぷら鍋の油に火がついた」

— もしも、鍋に火がついてしまったら —  
一番有効な消火法は、強化液タイプ\*1の消火器を使用することです。スプレータイプの小さなものでも強化液を使用したものなら有効です。

粉末タイプ\*2の消火器も有効ですが、粉が舞い視界が悪くなります。

— もしも、消火器などがなかったら —  
鍋を覆える大きめのタオルを水に浸け、かたく絞り鍋全体を覆うように被せることで消火できます。

この時、鍋に近づかなければならないため、火傷に注意が必要です。

また、鍋の温度が下がる前にタオルを取ってしまうと、再び火がつくおそれがあります。



慌てないことが大事ですね

— 絶対にやってはいけないこと —

それは、「水」をかけることです。消えないばかりか、火のついた油が飛び散り火傷を負ったり、火災が拡大したりするおそれがあります。

同様に、座布団や毛布をかけることも厳禁です。一時火が消えたように見えますが、火は消えてなく、被せたものに火が移ってしまい、被害が拡大してしまいます。

知っているという方も多い反面、これらの誤った消火法による事故は後を絶ちません。

— 炎が天井まで上がっていたら —

消火器を使っても火を消すことはできませんので、避難を優先して下さい!

何よりも大事なのは、命ですよ



もちろん、119番通報も忘れずにお願ひします。



## お兄さんと一緒に

### 防火体操

### 踊りませんか?

避難の基本的な動作を簡単な踊りで覚えましょう! 火災予防イベントで活躍中! 消防のお兄さんです。保育園、幼稚園など出張体操\*も行っています。



Let's dance!!

2代目お兄さん

※詳しくは郡山消防署予防係までお問い合わせ下さい。

☎ 923-1213

\*1 炭酸カリウムの水溶液で、冷却と抑制(負触媒)効果を持つ

\*2 リンが配合された粉末で、抑制と窒息効果を持つ